

第3部 基本計画

- 第1 リーディングプロジェクト(先頭に立って導く事業)
- 第2 施策大綱別(分野別)計画の体系
- 第3 施策大綱別計画の概要
- 第4 地域まちづくり計画



1 リーディングプロジェクト

『“住んでみよう・住み続けよう”秦野みらいづくりプロジェクト』の構成

本格的な人口減少、少子・超高齢社会に対応し、持続可能なまちづくりへの転換を図るため、現在、優先的に取り組んでいる「未来へつなぐ5つの重点事業」は、国の総合戦略が目標とする人口減少や地域経済の縮小などを克服するための有効な施策であると言えます。

リーディングプロジェクトは、「秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標とし、「未来へつなぐ5つの重点事業」をベースに、国の総合戦略や社会環境の変化、秦野らしさを踏まえて、5つのプロジェクトで構成します。

■ リーディングプロジェクト『“住んでみよう・住み続けよう”秦野みらいづくりプロジェクト』の構成

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略



“住んでみよう・住み続けよう”秦野みらいづくりプロジェクト

《第2期

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(国)》

- ①稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする【経済・雇用】
- ②地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる【移住定住・関係人口】
- ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる【結婚・出産・子育て支援】
- ④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる【都市機能・日常生活サービス機能の維持・確保、魅力づくり】

《秦野らしさ》

- 【ひと】人と人とのつながりを大切にする豊かな心
- 【自然】四季折々に豊かな表情を持つ丹沢の恵み～水・みどり～
- 【まち】小田急線4駅と東名・新東名高速道路3か所のICを生かした快適で利便性の高い住環境

《社会環境の変化》

本格的な人口減少、少子・超高齢社会など

《未来へつなぐ5つの重点事業》

- ①地域医療の充実・強化 ②中学校給食の完全実施 ③教育水準の改善・向上
- ④小田急線4駅周辺のにぎわい創造 ⑤新東名・246バイパスの最大活用

“住んでみよう・住み続けよう” 秦野みらいづくりプロジェクト

PROJECT 1

プロジェクト1

健康で
安心して暮らせる
プロジェクト

- ① 水とみどりを育む取組みの推進
- ② 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進
- ③ 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進
- ④ 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進

PROJECT 2

プロジェクト2

未来を拓く
子育て・教育
プロジェクト

- ⑤ 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進
- ⑥ 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進
- ⑦ 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進
- ⑧ 市民総ぐるみによる学校給食の推進

PROJECT 3

プロジェクト3

小田急線4駅周辺の
にぎわい創造
プロジェクト

- ⑨ 温泉を生かしたにぎわい創造の推進
- ⑩ 学生の力を生かしたにぎわい創造の推進
- ⑪ 文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進
- ⑫ 丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進

PROJECT 4

プロジェクト4

新東名・246バイパスの
最大活用
プロジェクト

- ⑬ 表丹沢魅力づくり構想の推進
- ⑭ 地域特性を生かした企業誘致の推進
- ⑮ 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進
- ⑯ 国道246号バイパス(厚木秦野道路)早期全線事業化・整備の促進

PROJECT 5

プロジェクト5

新たな
日常創造
プロジェクト

- ⑰ 新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進
- ⑱ デジタル化の推進

横断 プロジェクト

プロジェクト3・4を組織横断的に進め、「住みたい」、「働きたい」、「何度でも行ってみたい」につながる「関係人口」を創出・拡大させ、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげます。

秦野らしい豊かな自然環境の中で、誰もが健康で生き生きと活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

① 水とみどりを育む取組みの推進

市民共有の財産である水とみどりを守り育て、生かすことにより、恵まれた自然環境と共生した秦野らしさのあるまちづくりを推進します。

《主な取組み》

地球温暖化対策、秦野名水の保全・利活用など

② 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進

人生100年時代を心身共に健康で安心して暮らせるよう、地域医療の充実・強化を図りながら健康長寿に向けた取組みを推進します。

《主な取組み》

生活習慣病重症化予防、高齢者の保健事業と介護予防の一体化など

③ 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進

誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら安心して暮らせるよう、地域における人と人とのつながりを大切にし、互いに助けあい、共に支えあうまちづくりを推進します。

《主な取組み》

地域共生社会やエイジフレンドリーシティの実現に向けた取組みなど

④ 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進

市民の生命や財産を守り、安全・安心な暮らしを実現させるため、市民、事業者、行政が一体となった地域力や都市の安全性を強化する取組みを推進します。

《主な取組み》

市民総ぐるみの防災対策、危機管理体制の整備など

結婚・妊娠・出産・育児への切れ目ない支援を行い、安心して子育てできる環境を整備するとともに、教育水準の改善・向上や中学校給食の完全実施を中心とした取組みにより、秦野の未来を担う子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりに取り組みます。

⑤ 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進

周産期医療及び保健体制の整備・充実などにより、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進します。

《主な取組み》

周産期医療や妊娠・出産の保健体制の充実など

⑥ 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進

結婚から育児までの切れ目ない支援により、地域で安心して子育てができる環境づくりを推進します。

《主な取組み》

若い世代への結婚支援、子育て環境の充実、子ども・家庭への支援など

⑦ 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進

子どもたちの新たな学びのスタイルを構築するとともに、次世代の教育を見据えた環境整備により、「はだのっ子」の確かな学力向上に向けた取組みを推進します。

《主な取組み》

園小中一貫教育の推進、学校教育の情報化など

⑧ 市民総ぐるみによる学校給食の推進

中学校給食の完全実施を契機とし、商業・農畜産業などの地場産業との連携による地産地消や地域に根ざした食育の推進により、市民総ぐるみの学校給食を推進します。

《主な取組み》

産学公民連携による食育及び地産地消の推進など

「温泉」、「大学」、「まちの中心地、文化歴史」、「表丹沢」など、小田急線4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした、楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなどにより、活力あふれるにぎわい創造に取り組みます。

⑨ 温泉を生かしたにぎわい創造の推進

大山と鶴巻温泉駅を結ぶバスの運行など、自治会、商店会等と連携し、温泉地としての魅力を生かした駅周辺のにぎわいづくりを推進します。

《主な取組み》

鶴巻温泉駅周辺のにぎわいづくりに向けた源泉の活用、にぎわいにつながる商店会活動への支援など

⑩ 学生の力を生かしたにぎわい創造の推進

駅利用者の利便性や安全性を高めるとともに、大学等と連携し、多くの学生が集まる駅という特色を生かしたにぎわいづくりを推進します。

《主な取組み》

東海大学前駅周辺の特徴ある商業環境の形成、大学と連携した地域課題への取組みなど

⑪ 文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進

良好な市街地形成に加え、まちの中心として発展した歴史や湧水、文化、桜並木などの地域資源を生かしたにぎわいづくりを推進します。

《主な取組み》

国道・県道の整備促進、魅力ある商店街づくりのための環境整備支援など

⑫ 丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進

表丹沢や渋沢丘陵への玄関口として多くの登山者やハイカーが訪れるため、商店会や関係団体と連携し、まちの魅力発信とにぎわいづくりを推進します。

《主な取組み》

シティプロモーションの推進、地域資源を活用した地域ブランド育成の推進など

新東名高速道路の開通を本市発展の絶好の機会と捉え、産業・観光振興の両面から最大活用を図るとともに、国道246号バイパスの早期全線事業化・整備の促進に取り組みます。

13 表丹沢魅力づくり構想の推進

表丹沢における農林業、観光、文化、歴史、スポーツなど、広範な分野の地域資源を磨き、つなげ、新たに触れる機会を増やし、本物の魅力を見つけ出せる表丹沢とすることにより、交流人口の増加と地域活性化を推進します。

《主な取組み》

表丹沢ツーリズム(仮称)の構築・推進、総合ホームページの構築・運用など

14 地域特性を生かした企業誘致の推進

新東名高速道路等のネットワークや地域特性を生かした新たな雇用の創出につながる周辺への企業誘致を推進します。

《主な取組み》

新市街地ゾーンの土地利用検討(西大竹地区、戸川地区)など

15 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進

スマートインターチェンジから市街地へのアクセス性を高めるなど、新東名高速道路開通に伴う新たな人の流れを支えるネットワーク形成を推進します。

《主な取組み》

構想路線等の整備、周辺市道の再整備など

16 国道246号バイパス(厚木秦野道路)早期全線事業化・整備の促進

県、周辺自治体と連携し、国道246号バイパスの建設促進や未事業化区間の早期事業化を促進します。

《主な取組み》

国への要望活動の推進など

プロジェクト5

新たな日常創造
プロジェクト

新型感染症の収束を見据え、市民の「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3本柱での対策を充実させるとともに、スマート自治体への転換やデジタル化を推進し、「新たな日常」の創造に取り組みます。

17 新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進

感染症から市民の健康を守るとともに、「新たな日常」における日々の暮らしや地域経済を守る施策を推進します。

《主な取組み》

ワクチン接種体制の構築・実施、地域経済活性化事業など

18 デジタル化の推進

あらゆる市役所業務でのICTの積極的活用により、スマート自治体への転換やデジタル化を推進します。

《主な取組み》

ICTを活用した行政運営効率化の推進、各種手続きのデジタル化の推進など

PROJECT 5

横断プロジェクト

移住・定住活性化
プロジェクト

本市に多くの人の流れを呼び込むことが期待される「プロジェクト3：小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト」及び「プロジェクト4：新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト」を組織横断的に進め、「住みたい」、「働きたい」、「何度でも行ってみたい」につながる「関係人口」を創出・拡大させることにより、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげます。

《主な取組み》

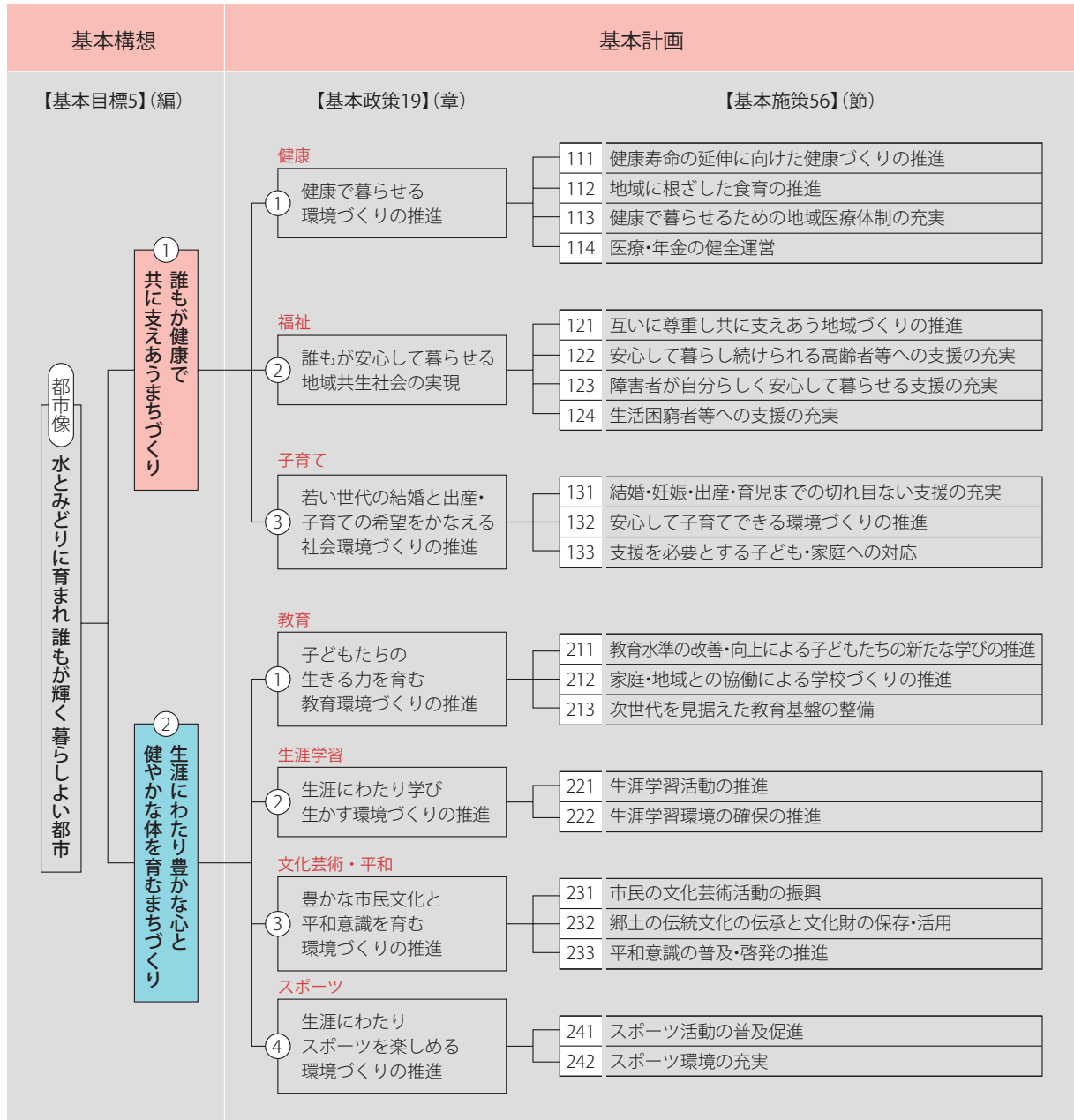
関係人口の創出・拡大の取組み、総合的な住宅施策の検討、さと地共生住宅開発許可制度の推進、空家活用の促進など

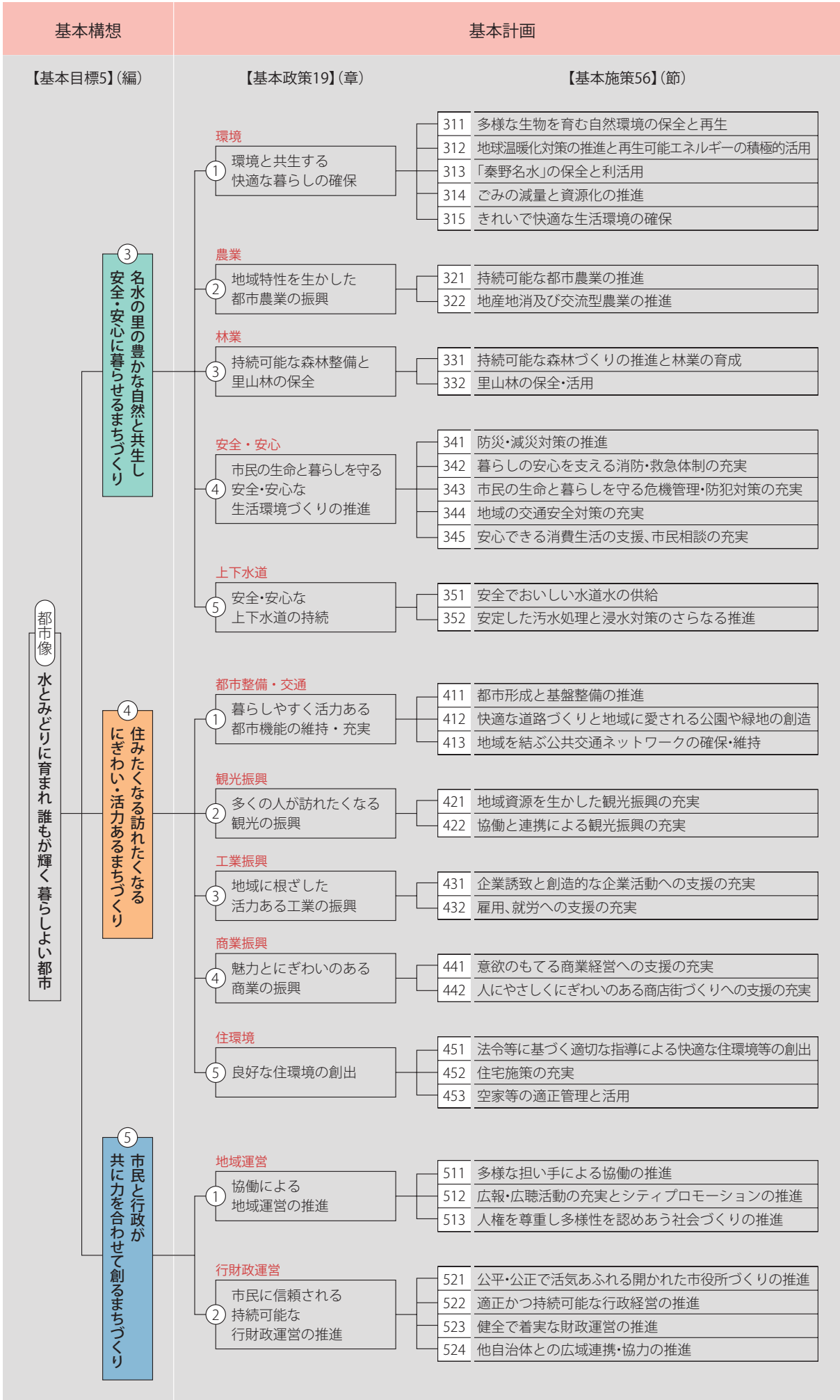
2 リーディングプロジェクトの推進体制

『“住んでみよう・住み続けよう”秦野みらいづくりプロジェクト』は、基本計画全体をリード(先頭に立って導く)し、誘導的、重点的に取り組んでいくプロジェクトであり、複数の部局にまたがる事業から構成されるものが多いため、必要に応じて庁内横断的な推進体制を整備するなど、プロジェクトを着実に推進します。

第2 施策大綱別(分野別)計画の体系

本市の限りない発展を願い、昭和44年に定めた市民憲章の理念のもとで、新たな都市像を定め、これを実現するため、5つの基本目標、19の基本政策、56の基本施策を設定し、具体的な施策の展開を図ります。





施策大綱別計画の見方

- 都市像実現のため、5つの基本目標(第1編～第5編)と基本政策(章)に沿って基本施策(節)を設定し、「目指すまちの姿」、「現状やこれまでの取組み」、「今後の課題等を踏まえた取組みの方向」、「主な取組み」、「主な個別計画等」により構成しています。

基本施策123

○○○○○○○○○○○○○○ (1編2章3節の基本施策(節)の名称です。)

目指すまちの姿

- 令和7年度までに実現を目指すまちの姿や市民の状態を示しています。

1 現状やこれまでの取組み

- 基本施策(節)における本市の現状やこれまでの取組みを記述しています。

2 今後の課題等を踏まえた取組みの方向

- 現状の取組みや今後の課題を踏まえ、取組みの方向について記述しています。

3 主な取組み

- 目指す姿を実現するために、令和3年度から7年度までに取り組むべき主要な施策・事業を掲載しています。
- 新規又は一部新規事業は「☆」マーク、ハード事業は「★」マークを付けています。
- 主な取組みの成果・活動量を測る指標を掲載しています。

4 主な個別計画等

- 基本施策に関連する主な計画や方針等を掲載しています。